



手作り神輿で祭は最高潮

潮風受けて地引網

海のつと子供大会

「ヨイショ、ヨイショ」と網を引く手に力が入る。銀鱗を踊らせアジやサバが飛びはねる。「第8回海のつと子供大会」が屋形海岸で行われ、メーンの地引網では、思わぬ大漁に150名の親と子は大喜びでした。捕れた魚は昼食事にカラ揚げなどにされ、新鮮な海の幸に舌つづみを打っていました。(8/3)



大漁にわく地引網

総参加できずな深める

大島団地夏祭

「テレックテン、ピーヒャララ」今夏もふるさと祭りが町内あちこちで盛んでした。ここ大島団地も役員が中心となってカラオケや踊り、花火大会が賑やかに繰り広げられました。特に3年目の今年には、手作りの神輿も登場し、「ワッセ、ワッセ」と威勢良く団地内を練歩くなど、昼夜繰出で楽しみ、一層きずなを深めていました。(8/10)

私のひとこと



いつのころからか、早朝に庭の手入れをするようになって久しい。朝のすがすがしい環境の中の快い作業が、一日のスタートになるのが何よりだ。折も折、これまたきまった時刻に新聞屋さんが、元気な「おはよう」の一声かけて通られるのが全寿(80歳)を過ぎた自分にとって、尊い出会の一瞬である。何ともさわやかなひとこまである。

日々是れ好日

越川勝哉(栗山)

時あたかも終戦41回目の記念の日を迎えたばかりの今こそ、恒久平和探求の諸々の社会事象に目を転じ、正しい認識の上に立って勇敢に行動しなければならぬ。我々高齢者層だけが枠外に無為無能であることは許されない筈である。



近頃いたるところで〇〇祭と称して地域の触れ合いの場を広げ、町づくりのステップとしていのが実状である。「盆踊り会」を演出するののも一つの行き方でしょう。地域の老若男女が納涼を兼ね、輪をつくり踊り興するさまは何とも結構な姿である。それにしても、我々ゲートボ

ール愛好グループもささやかながら一つの輪であり、日々和楽の裡に好みの道に精進できる幸せをかみしめるものである。今更いうまでもなく、祖国が平和であり繁栄の賜にほかならない訳である。

